

用語集①

用語	読み方	初出 ページ	解説
アルファベット・英数字			
3R	スリーアール	P60	Reduce(リデュース), Reuse(リユース), Recycle(リサイクル)の頭文字を取った3つのアクションの総称で, リデュース=ごみの発生や資源の消費自体を減らす, リユース=ごみにせず繰り返し使う, リサイクル=ごみにせず再資源化する, を表す
COP	コップ	P10	「Conference of the Parties」の略で「締約国会議」のこと。気候変動枠組み条約や生物多様性条約の参加国が集まり, 目標やルールを話し合う会議。
ESCO事業	エスコじぎょう	P42	Energy Service Company事業の略で, ESCO事業者が設備の診断・設計・施工・管理を一括で請け負い、省エネルギー化による光熱費の節減分で省エネ改修にかかる全ての経費を賄う事業。
FIT制度	フィットせいど	P41	「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」(FIT制度)は, 再生可能エネルギーで発電した電気を, 電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度のこと
FIP制度	フィップせいど	P41	FIT制度のように固定価格で買い取るのではなく, 再エネ発電事業者が卸市場などで売電したとき, その売電価格に対して一定のプレミアム(補助額)を上乗せすることで再エネ導入を促進する制度のこと
GJ	ギガジュール	P72	エネルギーを表す熱量の単位のこと。ジュールの熱量単位の10億倍である。
HEMS	ハムス	P79	ホームエネルギーマネジメントシステム(Home Energy Management System)の略称。家庭でのエネルギー使用状況を, 専用のモニターやパソコン, スマートフォン等に表示することにより, 家庭における快適性や省エネルギーを支援するシステムで, 空調や照明, 家電製品等の最適な運用を促すもの
IPCC	アイ・ピー・シー・シー	P10	「Intergovernmental Panel on Climate Change」の略で, 日本語では「気候変動に関する政府間パネル」と呼ばれる。1988年に世界気象機関(WMO)と国連環境計画(UNEP)によって設立された政府間組織である
Jクレジット	ジェイクレジット	P92	温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度のこと
kW(kWh)	キロワット(キロワットアワー)	P13	電力と電力量の単位のこと。1kWの電力を1時間使用した場合の電力量が1kWhとなる
MW(MWh)	メガワット(メガワットアワー)	P41	kW/kWhの1000倍の電力と電力量の単位のこと。1MWは1,000kWとなる

用語集②

用語	読み方	初出 ページ	解説
あ行			
一次エネルギー	いちじえねるぎー	P82	石油, 天然ガス, 石炭, 薪, 水力, 原子力, 風力, 潮力, 地熱, 太陽光, 牛糞など, 自然から直接採取できるエネルギーのこと。それに対し, 一次エネルギーを転換・加工することで得られる電力, 都市ガス, ガソリンや灯油などを「二次エネルギー」と言う
エネルギーの有効利用	えねるぎーのゆうこうり よう	P92	太陽光発電や蓄電池等により地域で創ったエネルギーを, 地域で効率的に使うこと
エネルギーマネジメントシステム	えねるぎーまねじめんと しすてむ	P92	エネルギー使用状況を, 専用のモニターやパソコン, スマートフォン等に表示することにより, 快適な室内環境の維持や省エネルギー化を支援するシステムで, 空調や照明など設備・機器の最適な運用を図るもの
温室効果ガス	おんしつこうかがす	P6	大気を構成する成分のうち, 温室効果をもたらすもの。主に二酸化炭素, メタン, 一酸化二窒素, フロン類がある
か行			
化石燃料	かせきねんりょう	P9	石炭, 石油, 天然ガスなどのエネルギー源。燃焼により二酸化炭素を発生し, 地球温暖化の主要な原因物質のこと
カーボンオフセット	—	P92	日常生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出について, まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い, どうしても排出される温室効果ガスについて, 排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により, 排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方のこと
カーボンニュートラル	—	P10	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から, 植林, 森林管理などによる「吸収量」を差し引いて, 合計を実質的にゼロにすること
クーリングシェルター	—	P99	熱中症予防のため, 自治体が指定し, 熱中症特別警戒アラート発表時に, 誰でも無料で利用できる空調設備のある施設のこと。市内では, アラートの発表の有無に関わらず, 一時的な休憩場所として, クーリングシェルターを利用可能。
グリーンインフラ	—	P98	自然環境のもつ多様な機能を人工的なインフラの代替手段や補完手段として活用し, 自然環境, 経済, 社会にとって有益な対策を社会資本整備の一環として進めようという考え方
グリーンカーテン	—	P100	ツル性の植物(ゴーヤ, ヘチマ等)による壁面緑化で, 夏の強い日差しを和らげ, 葉の蒸散作用により周辺温度を下げることで室温の上昇を抑える効果がある取組のこと。「緑のカーテン」とも呼ばれる
グリーントランスフォーメーション(GX)	—	P10	産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会, 産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ, 経済社会システム全体を変革すべく, エネルギーの安定供給・経済成長・排出削減の同時実現を目指すこと
さ行			
再生可能エネルギー, 再エネ	さいせいかのうえねる ぎー	P13	太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなど, 自然の力を利用して繰り返し使えるエネルギー。
省エネルギー, 省エネ	しょうえねるぎー	P15	エネルギー利用の無駄を減らし, 効率よく使うこと
水力発電	すいりょくはつでん	P88	河川などの水のエネルギーを水車により機械エネルギーに変換し, さらに発電機により電気エネルギーに変化する発電システムのこと

用語集③

用語	読み方	初出 ページ	解説
た行			
脱炭素経営	だつたんそけいえい	P32	脱炭素経営とは、気候変動対策を、コスト増加ではなく自社の経営の重要課題と捉え、リスク低減と成長のチャンスとして取り組む経営のこと
地熱発電	ちねつはつでん	P72	地下に存在する熱エネルギーを利用して発電を行うこと
電気自動車	でんきじどうしゃ	P18	バッテリー(蓄電池)に蓄えた電気でモーターを回転させて走る自動車のこと
は行			
排出係数	はいしゅつけいすう	P64	エネルギー種別ごとに使用量単位でその使用によって排出される温室効果ガスを示す係数であり、エネルギーの使用による排出量を計算する際に用いられる係数のこと
バイオマス発電	ばいおますはつでん	P41	動植物などから生まれた生物資源を燃焼する際の熱を利用して電気を起こす発電方式のこと
ヒートアイランド現象	ヒートアイランドげんしょう	P78	都市の中心部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象のこと。年間を通じて生じている現象であるが、特に夏季の気温上昇が都市生活の快適性を低下させるとして問題となっている
風力発電	ふうりょくはつでん	P88	風の運動エネルギーを風車(風力タービン)によって回転という動力エネルギーに変え、次にその回転を歯車等で増速した後、または直接発電機に伝送し電気エネルギーへ変換を行うこと
プラグインハイブリッド車	ぷらぐいんはいぶりっどしゃ	P30	搭載したバッテリー(蓄電池)に外部から給電できるハイブリッド車。バッテリー(蓄電池)に蓄えた電気でモーターを回転させるか、ガソリンでエンジンを動かして走る。
ペロブスカイト太陽電池	ペロブスカイトたいようでんち	P90	太陽光のエネルギーを直接電気に変換して利用できる結晶構造を持つ化合物を用いる太陽電池のこと。「薄く、軽く、曲がる」という特長を持っており、これまで設置が困難だった建物の壁や窓、低耐荷重の屋根などにも設置が可能となり実用化が期待されている。
ま行			
民生部門	みんせいぶもん	P36	民生家庭部門(一般住宅など)と民生業務部門(事業所・施設など)に区別される部門であり、民生家庭部門では家庭生活から排出される温室効果ガスが対象となっており、民生業務部門ではサービス関連産業や、公的機関等の活動に伴って排出される温室効果ガスが対象となっている
モビリティマネジメント	—	P94	地域や都市を、過度に自動車に頼る状態から、公共交通や徒歩なども含めた多様な交通手段を適度に利用する状態へと少しずつ変えていく一連の取り組みのこと